

9月の研修報告 詳細説明

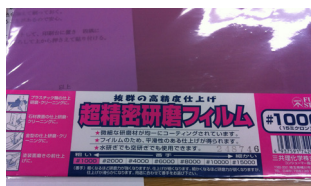
- * 1) 中性インキと油絵の具（ジンクホホワイト）を混ぜて練る。中性インキは油絵の具より気持ち少なめ。メディウムは入れないで刷れます。
- * 2) ライン描きは「ニューサクラカラー」。アクリル系エマルジョンを配合した「耐水性ポスターカラー」です。「ネオカラー」も同じです。確実に塞ぐために2度書きがお奨めです。ボンドやアラビアのりに色づけの絵の具を入れる手間が省けます。
- * 3) 中性インキを使用しているため、経年では小さな亀裂が生じます。メディウムを若干入れた方が良いでしょう。
- * 4) 今は販売されていない「プラスチックやすり」の代用。「超精密研磨フィルム」（三共理化学）で微粒子研磨材が均一にコーティングされた、精密研磨フィルムです。番手が# 1000～# 15000あります。住友スリーエムでも同様な商品が「ラッピングフィルムシート」として販売して、番手が# 320～# 15000あります。いずれも半透明ですが、番手によって透明色が違いスリーエムはフィルムの厚みも変わります。
- * 5) ポリエステル原紙の代用にならないか？。材質はポリエステル・不織布です。織り目に特徴あり。
- * 6) 細い線を手づくりの絞り袋に水性ポスターカラーを入れて絞りながら書く。和紙系の原紙に使用します。



* 1) 使用した中性インキと油絵の具。中性インキは7色ある。



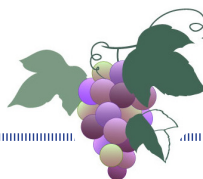
* 2) 左：ニューサクラカラー（さくら）。右：ネオカラー（ターナー）



* 4) 超精密研磨フィルム



* 5) 右：小バエ除けシート、左：エアコンフィルター



ホームページ： <http://www.hannokai.net>

Paper-Screen Print Circle

はんの会

No.141-2012.10



平成 24 年 10 月 1 日発行